

講演要旨

私は秋田市土崎の出身。九人兄妹の末っ子として生まれ

た。十六歳の時、父親は七十一歳で亡くなった。胃ガンだった。手術したが手遅れで、病院からは長くて六カ月の余命と言われた。だが家に連れて帰り母の看病のもとで一年半生きた。私にはこの時なにもできなかったが、あとで母から聞かされて看護の道に進んだ。

そうこうしているうちに、私のすぐ上、昭和二十三年生まれの姉が末期ガンで亡くなった。肺ガンで、発見された時には、余命一カ月と言われた。このわずかに残された期間、中学生と小学生の我が子のいる家庭で過ごしたいと望んだ。夫が会社を休んで看護し、四カ月半生き延びた。

この姿を見て私は、病院ではなく、家庭で最後を迎えたい人に看護を提供する方法もあると思った。

その後一年間、大阪のホスピスで有名な病院で研修、東京に行き、白十字訪問看護ステーションに勤め今にいたる。NHKのプロフェッショナル取材依頼は、昨年十二月に

あった。多くの人に迷惑のかることなので、スタッフみんなにも相談した。現在、全国にいる看護師の中で、在宅ケアに従事しているのは二%だけ。今後、この道に進む人が増えてほしいと思いき寄せた。

(このあと、胃ガンが進行、根本的な治療法がないまま、家庭での

在宅ケアの不思議な力 どんな時でも命は輝く

「訪問看護」でNHKプロフェッショナルに出演
秋山正子(昭和44年卒)



【略歴】昭和44年秋田高校卒業。聖路加看護大学卒業。産婦人科病棟で臨床経験後、大阪・京都で看護教育に従事。平成4年から東京・新宿区で訪問看護に携わり、平成13年にケアーズを設立。白十字訪問看護ステーション・白十字ヘルパーステーション統括所長。30年後の医療の姿を考える会会長。NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長。

生活の望んだ五十歳の男性。重度身心障害児をかかえた家庭。百四歳の超高齢者宅の看護の実態などが、十五分のダイジェスト版で放映された後、再び講演に移った。

平成十八年に医療法が改正され、在宅医療の充実が打ち出された。これは現在、病院で亡くな

る人は、全体の八割を超えているが、この人たちが、本当に病院での最期を望んでいるのだろうかという問いかけがある。

在宅療養を支えるには、医療だけでなく介護の部分と両輪でなければいけない。自分の家だけでなく、グループホームや特別養護老人ホームなど多様なところで生活している人々も、地域でできれば最後まで暮らす。その願いをか

なえるのが在宅療養であり、それを支えるのが在宅医療である。ネットワークとして、医療だけでなく、保健、福祉、包括医療センター、薬局などあらゆる機能が働かないとむずかしい。

私のいる訪問看護ステーションは、東京の新宿区にある。訪問先として引き受けている人は百五十人。小さな病院一つを運営している規模である。そこに十六名の看護師が働い

ている。保健師、ケアマネージャーの資格を持っている者が多い。リハビリの専門家の理学療法士も週二回活動している。

私はいま、市民講座を区民センターで開き、在宅で「ひとり」をした家族に体験を語ってもらっている。話した人はそれによって癒され、聞いた人も感動、当事者意識も生まれていく。そして、この人たちが地域へのボランティアとして参加、場所や組み合わせを変え、いろいろなところで活動の輪が広がっていつている。

どんな時でも命は輝く。たとえ亡くなる直前でもその人らしい輝きを見せることがある。障害があつたり、認知症であってもその人の人生の一言まに、命の輝きを放つようなかかりを持ってるように、その人の力を引き出せるように命に寄り添う、そのケアを届け、仕事をいまやり続けながら、次世代に伝え、育てたいと思

っている。訪問看護、命に寄り添うケアを生活の場にお届けしたい。これをモットーにこれからも頑張っていきたい。

ISO 9001 認証取得
清三屋建設工業株式会社

代表取締役
高橋 正男 (昭和40年卒)

代表取締役 専務
若狭 均 (昭和44年卒)

取締役 工事部長
高橋 洋平 (平成7年卒)

秋田市新屋天祥野5-18
TEL 018-864-9311

東部ガス・ラ・ザ 土崎店 秋田南店
(有)ガス器具委託センター

社長
高田屋憲次 (昭和41年卒)

副社長
高橋 正男 (昭和40年卒)

専務
継田 達蔵 (昭和40年卒)

URL <http://www.gasukigu.com>
E-mail gasukigu@h4.dion.ne.jp
☎0120-45-1303

平和薬局グループ

代表取締役 薬剤師
寺田 秀夫 (昭和40年卒)

平和薬局
〒010-0925 秋田市旭南一丁目1-6
TEL. 018-864-0044 FAX. 018-864-0059
E-mail: tera@cna.ne.jp

登町薬局
〒010-0021 秋田市橋山登町8-17
TEL. 018-837-2020 FAX. 018-837-4808

古法醸造味噌・優良こうじ・寒こうじ
きりたんぼ(だまこ)鍋セット
漬物・餅・赤飯

さか いち
坂 谷 研 一
(昭和40年卒)

南秋田郡五城目町上町142
TEL 018-852-2046 (FAX共通)